

関西3空港の役割分担(2005年11月 関空3空港懇談会合意)

	関西空港	伊丹空港	神戸空港
基本的役割分担の考え方	西日本を中心とする国際拠点空港であり、関西圏の国内線の基幹空港。国際線が就航する空港については、今後とも関空に限定することが適当。	関西圏の国内線の基幹空港。環境と調和した都市型空港とする。	神戸市およびその周辺の国内航空需要に対応する地方空港。
運用時間	24時間	14時間 (7:00~21:00)	15時間 (7:00~22:00)
発着回数の制限 (騒音対策上、安全対策上)	なし	370回/日を上限 (うちジェット枠200)	60回/日を上限 (2万回/年を上限)
関空2期事業に係る取り扱い (平成16年12月の大臣合意)	<ul style="list-style-type: none"> ・2期事業の施設整備は、2本目の滑走路を供用するために必要不可欠なものに限定。 ・関空会社は、補給金および政府保証債に頼ることのない安定的な経営基盤を早期に確立するよう努める。 ・関空会社は、平成19年度は13万回程度、平成20年度は13.5万回程度の需要確保に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年4月より、エンジンを3、4発搭載した大型機(ジャンボ機など)就航を禁止する。 ・ジェット枠は、中・近距離路線に優先的に配分し、北海道や沖縄などの長距離路線は抑制する。 ・環境対策費は平成17年度からの15年間における総額を637億円以内にするとともに、これを利用者が負担する。 	